

吉田正校長式辞要旨



君たちが在学したこの3年間は、山梨学院高等学校の歴史の中で、最も記憶に残る3年間になったことは間違いありません。進学実績の向上、スポーツと文化活動の振興、国際化の推進、この3つの柱を拠り所に世界に一つを求め、自ら未来を切り開く若者の育成を目指す本校ですが、スポーツでは、君たちが入学する4月に野球部はセン

バツ甲子園大会で山梨県勢初の優勝を果たし、翌年にはベスト8に進出し、山梨県初という記録を次々に塗り替えました。夏の甲子園では昨年は準決勝に勝ち進み、学校だけでなく山梨県全体が熱気を帯び、その熱が冷めやらぬうちの国民スポーツ大会での優勝は新聞紙面を独占しました。また、昨年の冬は男女駅伝、サッカー、ラグビー、男子バスケットボール部が揃って全国大会に出場し、他の競技でも全国で活躍した選手が数えきれないほど現われ、日本でも稀に見るスポーツ強豪校として山梨県を大いに沸かせ、人々の記憶に深く残ることとなりました。大学進学の実績においても、君たちの学年はここ10年の中で最も期待されている学年です。系列校の山梨学院大学はもとより、すでに発表されている早稲田・慶應義塾を始め多くの難関私立大学の合格に続き、山梨大学医学部は今日の時点で県内最多の合格者を輩出しています。続く国立大学の発表でも国内最難関である東京大学への合格者も期待されており、君たちは卒業後、3年間過ごしたこの母校をそして仲間たちをきっと誇らしく思うはずです。

人生はスポーツでも学習でも進学でも誰もが順風満帆とはいかないのが常ですが、突然自分の身を襲った命に関する重い病と闘い、そこから再起を遂げた二人の生徒。苦悩を乗り越え、自分を奮い立たせる心の強さ、誰にも真似のできるものではないと強く心を打たれています。私は決して宗教に熱心な人間ではありませんが、聖書に書かれている、神は乗り越えられない試練を与えないということ信じ、彼らの上に多くの幸福の光が降り注ぐことを祈りたいと思いま

す。2人の病と闘う姿は誰もが目標とすべき生き方だと思っています。この学校で卒業まで頑張ってくれてありがとう。そして、2人を支えてくれた仲間たちに感謝しています。

私たち教員の心は卒業後も何時までも君たちと共にあります。君たちが辛い時、苦しい時、理不尽なインターネット攻撃にさらされても、君たちをよく知るこの学校の先生方は、君たちの先生たちだけは、自分を理解してくれると思っています。君たちは若い、君たちには多くの時間が与えられています、友人との出会いの喜び、新たな挑戦への成功の喜び、スポーツでの勝利の喜び、時には挫折や苦しい経験をした後の立ち直りなど、数々の経験を、自分の心を強く豊かに育てる大切な宝としてほしいと願っています。失敗や挫折のない人などいません。何事も恐れず、自分が心惹かれるものに突き進んでください。希望に輝く君たちの未来が豊かで実りあるものとなって、やがて、世界の平和に貢献する人となることを願っています。